

東葛しぜん観察会 パークプロジェクト

自然観察おもしろ講座「クズの繊維で織物(コースター)作り」

渋谷 孝子（流山市）

日 時： 2022 年 8 月 6 日 (土) 9:30～15:00

場 所： 21 世紀の森と広場 (松戸市) 参加者: 15 人 (うち子ども 7 人)

担当指導員： 日野原、片岡、三角、三嶋、渋谷

「クズという植物を観察し、学び、繊維を採って布を織る・・・夏休みの自由研究にもピッタリの企画を 21 世紀の森と広場でどうかしら？」と提案をしたのは 3 年前でした。その後運河で行われた大人向け講座に日野原さん、片岡さん、三角さんの 3 名が個人的に参加、経験を積んでいます。

昨年 9 月には日野原さん講師、スタッフ片岡さんで、指導員向けの講習会「植物から繊維をとろう」を開催し、三角さんも応援してくれて、クズとカラムシから繊維を採り、段ボールで織り機を作りコースターを織る体験をしました。楽しかったけれど、時間もかかり、クズの繊維をあらかじめたくさん用意していただいたり、織り機作りの材料を用意したりと、ご苦労をおかけしました。



クズの繊維で織ったもの

そしていよいよ今年は 21 世紀の森と広場の講座として実施しました。公園にとっても私たちにとっても初めての企画なので、何もかも一から考え確認していかなければなりません。パークセンター側は夏休みと言う事もあって、是非「ドンちゃんグリちゃん企画展」で実施したいと言う事でしたが、大人でやってみたい人も居るだろうと言う事で、対象は小学 2 年生以上大人までとしました。

大きな鍋はあるか？ 煮る作業はどこで？ 公園のクズはどこにある？ 草刈りで刈られないようにしなければ！ 織り機はどんなものが良いか？ 縦糸は何本が良いか？ 縦糸の材質は何が良いか？ 用具はどのようなものを準備するか？ など、何度も打ち合わせしたり、現地で試しにやってみたりと準備を重ねました。

日野原さんは知識と経験から全体のやり方を決めたり資料作りをしました。片岡さんと三角さんと私は各自で良質なクズをさがし採取・発酵させて、参加者に提供するきれいな繊維をたくさん用意しました。また使いやすい杼(ヒ、シヤトルともいう)の制作も試行錯誤しながら頑張りました。三嶋さんはパークとの調整や備品の確認、織り機の板などの用具を準備しました。



観察後ツルを採り丸めて持ち帰ります



織り機を自分で作ります

当日は天候にも恵まれ、スタッフそれぞれ持てる力を120%発揮し、以下のように実施出来ました。

9:45〜クズの観察・採取

自然観察指導員らしい企画にしたいと言う事で、まずは実際のクズを野外で観察し、大昔からヒトの役に立ってきた話をし、生き物との関係にも触れて、それからクズの蔓を採取しました。

10:30〜クズの蔓を煮る・織り機作り

デッキでお留守番担当が沸かしていたお湯で持ち帰った蔓を30分煮て、その間に室内で指導員の指導で織り機を作りました。子ども向けに縦糸は1cm間隔で10本、希望する大人は5mm間隔で20本の織り機を作りました。

11:30〜繊維をとる

煮た蔓を取り出し、繊維部分を採取、芯は捨てます。室内に戻り各テーブルで繊維のお掃除をしてから洗って、それを乾かす間にお昼休みをとりました。

13:00〜コースター織り

自分で作った繊維とスタッフが用意した繊維を使って、いよいよ織りの作業です。

日野原さんが用意した大きな織り機でやり方を見せましたが、初めてのことなので難しく、スタッフ全員が手取り足取り丁寧に指導して回りました。

14:45 完成！

自分で今日作った緑色の繊維がアクセントになった素敵なコースターが完成しました。



ゆでた蔓から繊維をとります



繊維のおそうじ



スイスイ織る人、悪戦苦闘する人…

参加者の感想

- 私のご先祖様も、クズをあつかって服を作っていたんだとおどろきました。
- 糸をつくるのも、織り機をつくるのも、織るのも楽しかった。
- クズを取りに行った時はワクワクしました。・クズの生態についてもっと知りたかった。

パーク担当者より

- みなさん楽しそうでした。今までのすべての講座の中で 一番と言えるような良い講座でした。

指導員の感想

- 準備が大変でしたが充実していた！ ・クズの糸作りにハマってしまいそう。
- 色々反省点もあるけれど、最高のチームワークだった。・来年はもっとうまくやれそうですね！

3年越しの構想実現！本当にお疲れ様！！ みんなの実力と協力が素晴らしいかった！！！！